

感動一点の場

『笑』
1967年 小川原 脩 画



題名から人物の笑顔を想像するかもしれませんが、この作品に描かれているのは、一頭の馬の横顔です。黒い丸い目、大きく前へ突き出した鼻先。厚く塗り重ねられた絵肌と、大胆に単純化された形は、一見すると抽象画のようにも見えます。

1967年から68年にかけて、小川原脩は、このように馬の姿を大きく省略した作品を数多く描きました。その背景には、1950年代末から考古遺物を題材に展開した造形表現があります。小川原は、石器が石を「削り、そぎ落とす」ことで形づくられる「マイナスの造形」に魅力を感じたと記しています。細部を描き込むのではなく、本質だけを残そうとする考え方は、この馬の表現にも息づいています。

「馬らしい体つき」は思い切って省かれています。一度馬の横顔だと気づくと、その姿は不思議なほど確かな存在として目の前に現れてきます。余分なものを削ぎ落としたからこそ、生命の気配が際立っているのでしょう。描かれているのは色とかたちだけです。しかし、その前に立つと、馬の息づかいや鼻息、足音までもが聞こえてくるように感じられます。目には見えない「音」や「気配」を想像することも、絵画を楽しむ大きな魅力なのかもしれません。

文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 副館長）

写真に見るちょっと昔の倶知安 －倶知安中学校旧校舎－

戦後の学制改革により、1947（昭和22）年に「6・3・3制」が始まり、倶知安中学校が開校しました。当初は独立した校舎がなく、倶知安小学校と倶知安高校の教室を間借りした分散授業での出発でした。その後、生徒数は急増し、教室不足から一学級60人を超える「すし詰め教室」や二部授業を余儀なくされるなど、教育環境は厳しいものでした。

こうした状況を受け、町は1949（昭和24）年に新校舎の建設を決定します。戦後の資材不足や財政難、地盤の悪さなど多くの困難を伴いながらも工事が進められ、同年11月にまず8教室が完成して3年生が移転。翌1950（昭和25）年10月には木造2階建ての校舎と体育館が完成し、全校生徒が待望の新校舎へ移りました。

普通教室16室のほか、理科室や音楽室、図書室、映写室などを備えた近代的な校舎は、1952（昭和27）年に文部大臣から「全国優良施設校」として表彰されました。この校舎は1978（昭和53）年から始まった3か年計画による建て替えまで約30年にわたり、地域の中学生の学び舎として数多くの卒業生を送り出しました。

文：紺谷 貴之（倶知安風土館 学芸補助員）



▲倶知安中学校旧校舎（1978年撮影）

ふるさと探訪

520回

展覧会のお知らせ

■第1展示室

小川原脩展「アジアの大地」

会期：開催中～9月23日（水・祝）

■第2展示室

しりべしミュージアムロード共同展「しりべしザワザワ」

小川原脩記念美術館のテーマは「動物たちのいるところ」。

小川原脩、木田金次郎、西村計雄が描いた動物たちの作品を展示します。

会期：開催中～9月23日（水・祝）

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

おとなの手しごと③色あざやかに折り染め

和紙を折って畳んで、色あざやかな染料で染めます。

日時：8月15日（土） 会場：ロビー（無料）

対象：中学生以上、親子可 定員：10名※要予約（☎22－4141）

講師：金澤逸子（学芸スタッフ）

■ミュージアム・コンサート

えぞふじ合唱団 40周年コンサート

日時：8月29日（土）14時～15時

会場：ロビー（無料・予約不要・先着70席）

出演：えぞふじ合唱団のみなさん

★「第64回くっちゃんじゃが祭りうちわコンクール作品展」 「倶知安中学校美術部作品展示」

子どもたちの描いたうちわデザイン画の入選以上の作品と、倶知安中学校美術部が制作したじゃが祭りポスターの原画と昨年度学校祭で制作した巨大な平面作品を美術館で展示します。

展示期間：8月8日（土）～23日（日）

会場：小川原脩記念美術館ロビー（無料）

倶知安風土館からのお知らせ

古い地図や町並み写真を探しています

倶知安風土館では、町の移り変わりを記録し未来へ伝えるため、古い市街地図・住宅地図などの地図資料や、町並みが写っている写真の収集を行っています。

自宅や職場に眠っている地図や写真がありましたらお知らせください。寄贈のほか、一時的にお借りして複写後にご返却することも可能です。



ミュージアム通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円[400円]
高校生 300円[200円]
小中学生 100円[50円]

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円[100円]
高校生以下、美術館観覧者無料
※年間パスポート 500円

※[]内は10名以上の団体料金
開館時間は9時～17時(最終入館16時30分)

8月の休館日 毎週火曜日、12日。

11日は祝日のため開館。

*8月31日まで夏休み期間のため高校生以下無料

しりべしミュージアムロード共同展

7月18日から9月23日まで「しりべしミュージアムロード共同展」が開催されています。昨年、私もニセコ町の有島記念館、共和町の西村計雄記念美術館、岩内町の木田金次郎美術館と荒井記念美術館を巡ってスタンプラリーも完走しましたが、それぞれの館が工夫した展覧会を開催しており、ドライブとあわせてとても楽しむことができました。

今年は「しりべしザワザワ」と題して、目に見えない「音」がテーマとなっています。今回の展覧会では作家たちが作品に描き封じ込めた「音を聴く」という楽しみ方もできるのではないのでしょうか。

また、しりべしミュージアムロード共同展と同時に小川原脩展「アジアの大地」を開催しています。小川原脩が作品に描いた中国桂林、チベット、インドの情景に思いをはせてみるのも面白いと思います。

さて8月に入り、暑さが厳しくなつて特に熱中症への注意が必要となる時期を迎えます。小川原脩記念美術館、倶知安風土館は今年も「涼み処」となっていますので、暑さをしのぐ場所としてお気軽にご利用ください。

館長 高橋 淳之